

施工主様 施工技術者様へ 下記施工要領を御確認の上、施工お願い致します。

<b>重要</b>	<b>開封放置禁止</b>	ジョイント施工	① 必ず巾おとしする
	※商品確認等で、開封したときは広げたま放置しないで必ず包装して下さい。(ウールが生きている為、色差が発生します。)		② ホツレ止めをする



<写真1>

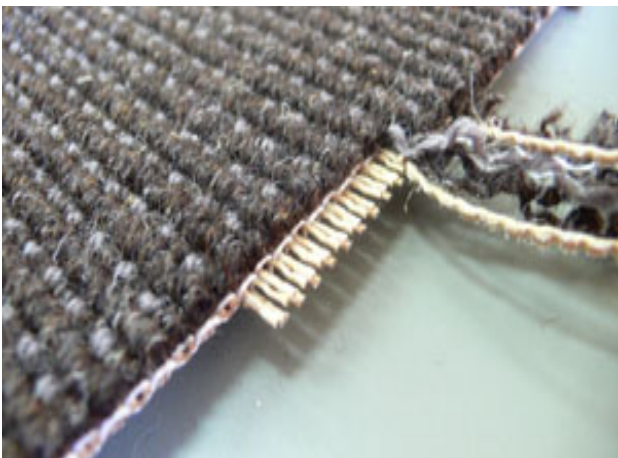
推奨施工方法 フェルトグリッパー工法

**注意** グリッパーのピンが表に出ることがあります。施工後ピン先処理をして下さい。

グリッパーのピンの長さの選定(Aタイプ推奨)

織物カーペットの基本的なジョイント方法  
(シーミングテープジョイント前処理)

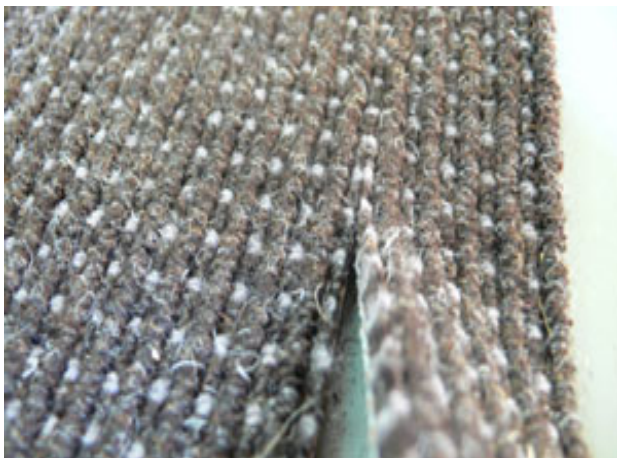
(A) 巾継ぎジョイント



<写真2>

(B) 胴継ぎジョイント

**注意** 基本的に胴継ぎジョイントはできません。横スジが入り柄が合わない為、見切り材が必要です。(ただし、現場状況により避けられない場合に限ります。)

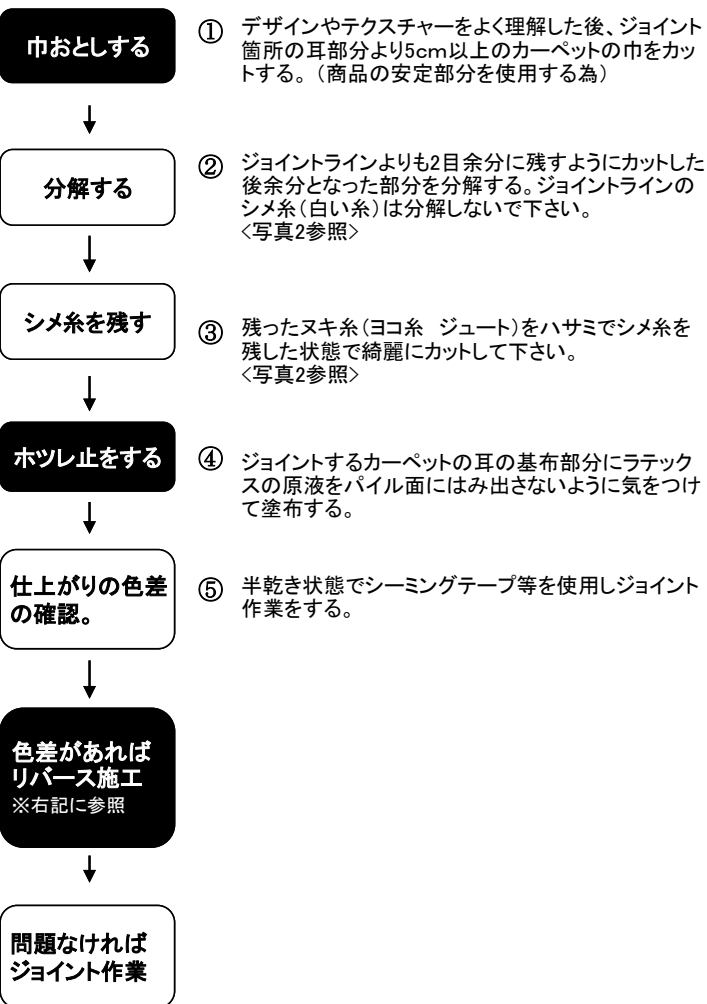


<写真3>

- ① デザインやテクスチャーをよく理解した後ジョイントライン(カットライン)を決める。
- ② ロールアップのトップをハサミでカットする。(ロールアップがカットパイルになり構造的に強くなります。) <写真3参照>
- ③ ジョイントするカーペットの端の基布部分にラテックスの原液をパイル面にはみ出さないように気をつけて塗布する。
- ④ 半乾き状態でシーミングテープ等を使用しジョイント作業をする。

※ ジョイント完了後にはスリットしたカーペットの端どうしがラテックスで接着されて強力なジョイントに仕上がります。

※重要項目なので必読、よろしくお願い致します。



※ ジョイント完了後にはスリットしたカーペットの耳どうしがラテックスで接着されて強力なジョイントに仕上がります。

リバー施工

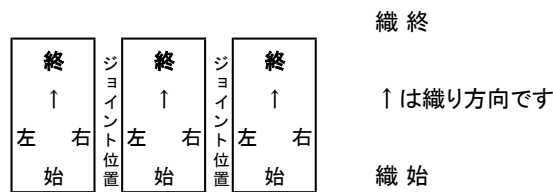
- ・ ジョイント施工の場合の時にジョイント部分の色差が出る場合があります。
- ・ 織りじゅうたんの場合、巾の左右のテンション差が確認されることがあります。
- ・ ジョイント施工時、シーミングテープのアイロンの前にジョイント部分の色差の確認をお願い致します。

※ 施工時には 有効寸法ギリギリまで左右の巾を落としてください。

※ もし色差の限度が許容範囲以上と思われた場合 同方向ジョイントからリバー施工に変更願います。

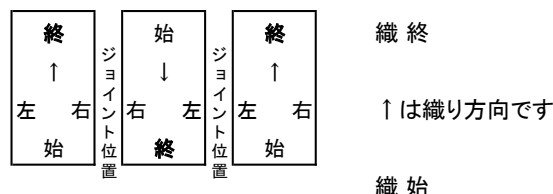
★ 通常の施工 (同方向ジョイント)

織り巾に対して 左端 右端 ジョイント 左端 右端 ジョイント 右端 左端



★ リバー施工(逆方向ジョイント)

織り巾に対して 左端 右端 ジョイント 右端 左端 ジョイント 左端 右端



※ リバー施工されるとジョイント部分が 右端右端 左端左端と端同士が同じ部分になりジョイント部分の色差が通常施工より目立たなくなりました。お手数ですがよろしくお願い致します。尚、リバー施工はループ製品に限ります。カット製品の場合は絶対しないでください。